

## Departure OC I Revised Edition

## OC でリスニングから文法まで

教科書編集部

おかげさまで *Departure Oral Communication I* (以下 *Departure*) は多くの学校でご支持いただけてまいりました。改訂にあたっては、「いままでの良さを損なわずに」「ご採用校の意見を取り入れ、一層使いやすく」を心がけて編集しました。本稿では改訂版で特に改良を行った点を具体的にご紹介します。初めてお使いいただく先生方にはもちろん、これまでお使いいただいていた先生方にも、より使いやすくなったと言っていることと確信しています。

## 1. リスニング試験対策を強化

この1月に大学入試センター試験で、リスニングテストが導入されました。各大学の入学試験でもリスニング試験は増加の傾向にあります。しかし、「リスニング対策にわざわざ時間を割くのは難しい」「どうやって対策すればいいかわからない」という声も多く聞かれます。

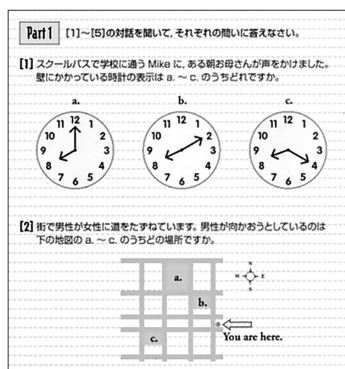
*Departure* 改訂版では、OC の授業で効率よくリスニング対策を行っていただけるよう、次のような工夫をこらしました。

## ①各課でリスニング・ストラテジーを練習

聞き取りのコツを意識しながら学習できるように、巻頭にリスニング・ストラテジーを掲げました。具体的には、知識・場面・文脈・キーワード・視覚の各ストラテジーとスキミング、スキミングの7つです。各課の *Listen & Speak* では、各ストラテジーに対応した練習ができます。

## ②実戦形式の問題にトライ

リスニングの問題形式に慣れるのも練習のひとつ



p. 46, Listening Challenge

つと考え、各 Unit 末に *Listening Challenge* という練習問題を設けました。資格試験やセンター試験に近い形式で、短い対話から物語文などの長文まで様々な素材を聞き取る練習を通して、リスニング力のレベルアップをはかります。

## 2. 語彙力増強で活動をやりやすく

「語彙力がネックになって会話がはずまない」「もっとヒントを増やして欲しい」とのご採用校からの要望に応じて、*Try!* でのパターンプラクティスのモデル例を増やしました。ペアのそれぞれに例が出ているので、語彙不足に煩わされずにスムーズに活動を進めていただけます。

活動に役立つ語彙リストとしてご好評をいただいている *Vocabulary Board* は巻末にまとめて、拡充をはかりました。

## 3. コミュニケーションの視点で文法を

表現やことばの機能が言語材料の中心になりがちな OC の授業。「文法もつねに意識させたい」

という先生方のご意見を反映させて、Function のコーナーに Grammar クイズ (Q) を設けました。たとえば「You should...ではなく You had better...と言ってはいけないのか」など、文法的には正しくても、コミュニケーションの場面では不適切になることがある表現などに注意を向けさせることにより、文法を日常生活で使いこなすためのヒントを与えます。

#### 4. 生徒の知的好奇心に応える教材

「日常生活でのやりとりだけなら中学校から何度も行っている。もっと高校生らしい内容のコミュニケーション活動を」という先生方にも、深みのある教材でしっかりお応えします。

主人公の和明が留学先のアメリカで触れる学校生活や、移民で構成される社会の実状、アメリカ常識クイズなどは、生徒がニュースなどで耳にする知識を裏打ちしてくれるでしょう。

また、日本の文化や習慣についても、留学生を相手に会話する場面を設け、発信型のコミュニケーションにも取り組めるようにしました。

#### 5. オーセンティックな教材で臨場感を

ご採用校の先生方からは、「教科書用に作られた教材だけでなく、臨場感のある、生の英語に触れさせたい」というご意見も多く聞かれました。各 Unit 末の Listen Up! ではコマーシャルやラジオのニュースなど、オーセンティックな教材を

Listen Up! 4

**Seven O'Clock News**

ラジオのニュースでは深刻な事件のほか、思いがけない、おかしなできごとがエピソードとして放送されることがあります。新聞やテレビ、ラジオのニュースはだれが(who)、いつ(when)、どこで(where)、何を(what)、なぜ(why)、どのように(how)という SWITH に注目して理解すると効果的です。

アメリカ合衆国第 39 代大統領 Jimmy Carter と彼の妻 Rosalynn には Amy という娘がいます。Amy が小学生の時のエピソードを聞いて、①～③の問いの答えを (a)～(c) から 1 つ選びなさい。

① What did Amy have a problem with?

(a) Her homework.

(b) Her lunch.

(c) Her pet.

② What did Amy's mother do to help?

(a) She called Amy's teacher.

(b) She asked a White House aide for help.

(c) She called the principal of Amy's school.

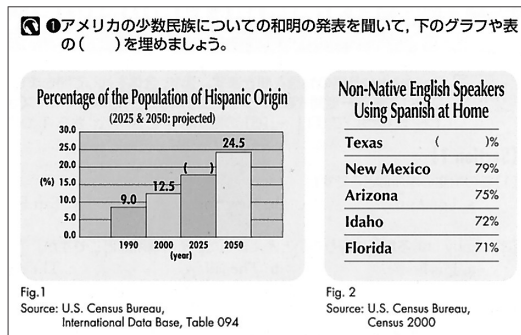


p. 90, Listen Up! 4

提供し、生徒に生の英語を聞き取れる楽しさを体験させます。

#### 6. ヴィジュアル問題を増加

各種試験・入試問題で頻出する写真やグラフ、イラストを使用した設問に慣れるため、この形式の問題を増やしました。リスニング・ストラテジー（視覚ストラテジー）でも取り上げて、解答のコツに迫ります。



p. 67, Task アメリカの少数民族グラフ

#### 7. 国際共通語としての英語

最後の Unit は、英語を通じて生徒の世界を広げることを目指します。イギリス、オーストラリアをはじめとする英語のバリエーションをリスニング活動で紹介し、英語という言葉への生徒の関心を一層高めます。またこの Unit は、今年 5 月から TOEIC テストのリスニングセクションで取り入れられるイギリス英語、オーストラリア英語等の発音にふれる機会ともなるでしょう。

また、アジアの国々とその文化についても 1 課を設け、日本との文化的・歴史的に密接なつながりについて扱いました。英語が英米圏以外の、身近なアジアの人々とのコミュニケーションにも役立つと知ることは、生徒の英語学習への大きな動機づけになるでしょう。

これまでの良さはそのままに、リスニング対策の強化や文法や単語の拡充など、さらなるパワーアップをはかった *Departure* をぜひご覧下さい。